

日中両言語における「疑いの表現」についての対照的研究^(注1)

丹保 健一*・陳 瑩*

A contrastive research on the expression of suspicion between Japanese and Chinese.

Kenichi TAMBO and Chen Ying

0. はじめに

日本語の疑問表現は、聞き手に問いかけるか否かによって二分される。本稿においては、前者を「問いかけの表現」、後者を「疑いの表現」と呼ぶことにする。

疑問表現に関する日中両言語の対照研究は、「問いかけの表現」をめぐるものは多く見られるものの、「疑いの表現」を扱ったものは少ない。また、中国語の疑問表現に関する研究において、「疑いの表現」に関するものは殆ど見られない。

本稿は、これまで注目されることの少なかった「疑いの表現」に焦点を当て、日中両言語の対応関係(具体的には原文と翻訳文との比較)を通して両言語の特徴を明らかにすることを目指している。

0-1. 「疑いの表現」の性格と特徴

本稿で扱う「疑いの表現」は、仁田(1991)のいう「聞き手への問いかけを意図することなく話し手の判断成立への疑念を述べたもの」を指している。

0-2. 「疑いの表現」を判断する方法

「疑いの表現」の文末形式について、仁田(1991)は、「～だろうか」、「～かな」、「～かしら」の文末形式が多く使われると述べている。本稿は、この3つの文末形式に「～か」を加えて考察を行うことにした。

しかし、「だろうか」、「かな」、「かしら」と「か」が文末になるのは、「疑いの表現」だけではなく、「問いかけの表現」もある。文末の形式だけから「疑いの表現」を判断するのは難しい。本稿では、古本(1993)のいう、「求めている情報を聞き手が持っていない」と話し手が思っている場合に、「疑いの表現」であるとする考え方によった。

1. 中国語の「疑いの表現」について

1-1. これまでの指摘

中国語の疑問文は、疑問詞の有無によって以下のように4分類されることが多い。

* 三重大学教育学部教授

** 鄭州大学昇達経貿管理学院専任講師

- ① 諾否疑問文（当否疑問文）（注：異なる呼称がある場合は（ ）内に示した）
- ② 疑問詞疑問文（特指疑問文、特定疑問文）
- ③ 反復疑問文（正反疑問文）
- ④ 選択疑問文

前述したように、中国語の疑問文研究において、モダリティの概念に基づいた「疑いの表現」に関するものは、殆ど見られない。そのため、4つの疑問文の中でどの文形式が「疑いの表現」として使用されるかについても、中国語の研究には見られない。この点に関して、日本人の中国語学習者向けの文法書である相原茂（1996）（『why? にこたえるはじめての中国語の文法書』）では若干触れられている。相原（1996）は、上記の4つの疑問文の中で「I型（諾否疑問文）は“?”を伴って聞き手に向かって回答を要求している文であり、II、III型（選択疑問文、正反疑問文、疑問詞疑問文）は、文中に疑念を誘発する何らかの未確定な要素を話し手が表明する文なのである」と述べている。更に、II、III型について「このような型が、未確定な要素を確定化するに足る情報を持っていると思われる人、すなわち答えが分かっている人に向かって発せられたとき、結果的に疑問文として機能する」ともしている。すなわち、選択、正反、疑問詞疑問文の3種類は「疑いの表現」であると同時に「問いかけの表現」としても機能する。一方で諾否疑問文は、「問いかけの表現」だけを表すということである。換言すれば正反疑問文、選択疑問文、疑問詞疑問文という三つの文形式は、「疑いの表現」となりうるのに対して、諾否疑問文はなり得ないとしている。

1-2. 諾否疑問文は「疑いの表現」となり得ないのか。

相原（1996）の「諾否疑問文は「疑いの表現」となり得ない」について、首肯しがたい感があり、実際の用例によって調査することにした。

中国語訳のある日本語の文学作品から「疑いの表現」169例を収集した。169例に対する中国語翻訳を見ると、疑問詞疑問文、正反疑問文、選択疑問文の他に、相原氏の結論に反して諾否疑問文になる例が18例あることが分かった（反語と推測を表す文に反訳される例もあるが、日本語の原文と意味的なずれが起ったので次節で扱う）。代表的な例を挙げておく。^(注2)

(01) 三十分、あるいは一時間くらい溶解しないカプセルが存在していたらどうだろう。それだとこれは解決はつくだのである。しかし、そんなカプセルが現在、あるだろうか。

—如果能找到一种三十分或一个钟头后才溶解的胶囊、问题就迎刃而解了。然而、真有这种胶囊吗？

(02) 私は打ちひしがれてしまった。あの方はやはり私に遠い方だったのか。

—我被击溃了。她依然离我那么遥远吗？

(03) 後で静かに考えると、いろいろの意味に取れる。あの方は私を非難なさったのだろうか。私を警戒するようにとそれとなく母に注意なさったのだろうか。またはしょうだんにまぎらはして私の愛情に答えて下さったのだろうか。

—我冷静地思考、分析出多种意义。她是否在责备我？警惕我？不露痕迹地要母亲多注意我？她那玩笑似的含糊言语、算是对我感情的答复吗？

諾否疑問文は「疑いの表現」になれないという相原氏の指摘を受け、この18例が反語文である可能性を考えたい。中国語には、諾否疑問文で表す反語文が存在するからである。『現代中国総覧』の例文を引用しておく。

(04) 这是哪儿和哪儿的事呀？挨得着吗？你真能胡思乱想！（それは一体何のことだ？関係あるのか？お前でため考えるのもいいかげんにしろ！）

(05) 还想进去看电影？你有票吗？（中に入って映画を見たいだと？切符はあるのか？）

（『現代中国語総覧』の 678p 例①②）

下線を施している文は、諾否疑問文で表す反語文である。(04)の「挨得着吗？(関係あるのか)」は「挨不着(関係ない)」の意、(05)の「你有票吗？(切符はあるのか)」は「你没有票(君は切符を持っていない)」の意をそれぞれ表している。この2例は前後に接続する文を除いて、反語文のみを見ると一般的な諾否疑問文としか見なすことができない。ただ、(04)は前接する文を、(05)は後接する文を含めて文意を解釈すると、諾否疑問文の反語表現であることを間違いなく判断できる。つまり、この形式の反語文は、前後文の意味に強く影響され、それに繋げて理解しないと判断できないという特徴を持っている。

しかし、一方、本稿が集めた18例は、文に反する意味を表す表現が前後文脈に見られない。例えば(04)の「你真能胡思乱想(お前でため考えるのもいいかげんにしろ)」と(19)の「还想进去看电影(中に入って映画を見たいだと)」の文は反語文の成立を支える表現なのである。用例の(01)で説明してみると、下線を施した諾否疑問文の前文には、「そんなカプセルが現在ない」という反語文の語気を表す表現は全く見られない。そのようなカプセルが存在したらどうなるのかについての話し手の予測だけである。下接した原文は「若宮は、この事件が旧陸軍研究所に関係があることを思い出した。計略用の優秀な印刷機械がそこに据え付けられていたのである」とあるので、反語に繋がる表現にはならない。

このように、18例は、この形式としての反語文のあるべき特徴が見られないため、その中国語訳は反語文ではなく、諾否疑問文であると考えられる。相原(1996)は、諾否疑問文は「疑いの表現」にならないと主張したが、収集した用例を見る限りそれを証明することができない。用例を見る限り、むしろ諾否疑問文が「疑いの表現」を表すことができるという結論になるのである。別な言い方をすれば、中国語において疑問文の4つの文型は、何れも「問いかけの表現」と「疑いの表現」の両方を表すことができるといえよう。

2. 日中両言語における「疑いの表現」の対応

2-1. 疑問詞のある場合

収集した用例の内、疑問詞の使われる日本語文101例は、例外なくすべて中国語の疑問詞疑問文に対応している。日本語の原文は、「だろうか」、「か」、「かしら」、「かな」で「疑いの表現」の文末が異なるが、中国語に対応すると疑問詞疑問文という一つの文形式となる。つまり、疑問詞が使用される場合に、日本語の「疑いの表現」に使用された疑問詞は完全に中国語訳で表現されているのに対して、原文の文末形式は中国語では表されていない。

2-2. 疑問詞のない場合

疑問詞のある場合とは逆に、疑問詞を含まない日本語の「疑いの表現」に対しては、同じ文末であっても、中国語の対応は多様である。集めた67例の日中対応を日本語の文末別にそれぞれ以下の表1にまとめてみた。

表1. 日本語文の文末と中国語文の形式

日本語原文		中国語訳文	
文形式	用例数	文形式	用例数
「か」が文末形式になる	37	選択疑問文	11
		正反疑問文	7
		諾否疑問文	8
		反語文	8
		推測	3
「だろうか」が文末形式になる	22	選択疑問文	2
		正反疑問文	8
		諾否疑問文	9
		反語文	1
		推測	2
「かな」が文末形式になる	5	正反疑問文	1
		反語文	1
		諾否疑問文	1
		推測	2
「かしら」が文末形式になる	3	選択疑問文	1
		正反疑問文	1
		推測	1

表1からも分かるように、この場合の「疑いの表現」は、中国語の疑問文に対応する場合もあれば、疑問文以外に対応する場合もある。対応する疑問文は疑問詞疑問文を除いた正反、反復、諾否疑問文の3類型で、疑問文以外のほうは、反語文と推測を表す文である。

反語文と推測の文は、疑問表現ではないのももちろん「疑い」を表していない。つまり、反語文と推測文に翻訳されることによって日本語の原文にある「疑い」はなくなってしまふ。このように、疑問文以外の文形式に訳されることによって「疑い」のニュアンスを無くしてしまうので、このような中国語訳は適当ではないように思われる。

実際のところ、この類の文は、中国語の疑問表現で翻訳されることができる。例えば、次の例(06)、(07)はそれぞれ反語文、推測文に訳されているが、疑問表現を使った(06)'と(07)'(陳による中国語訳)に翻訳しても成立する。

- (06) 何十本かの旗が固まって陽に輝いていることが、これまで行徳の見たいかなる部隊の行進とも違っていた。
西夏の国王元昊に扈従する儀仗兵の一隊なのであろうか。
 一数十面旌旗聚集一起、在阳光下闪闪辉亮、这和行得从前所见的任何军队都完全不同。难道是西夏王李元昊的仪仗兵队吗？
- (07) あの方は雲を見て遠い土地へ教師に來た自分を考えていらしたのだろうか。
 一也许他自己认为是为了看云、才到这么远的地方当老师吧。
- (06)' 数十面旌旗聚集一起、在阳光下闪闪辉亮、这和行得从前所见的任何军队都完全不同。是不是西夏王李元昊的仪仗兵队呢？
- (07)' 他自己是否认为是为了看云、才到这么远的地方当老师呢？

つまり、このような訳は疑問文の形式で言い換えてもよい。そうすると、日本語の原文の意味に忠実

に、「疑い」のニュアンスを無くさないために、反語文や推測の文より疑問文の文形式に対応したほうがより適切な訳ではないかと思われる。しかし、実際、日中対訳にこの類の中国語訳は存在している。このような翻訳の違いは、どのような理由によるのであろうか。翻訳者の主観によるものかと考えたが、ほとんど異なる訳者に翻訳された用例なので、安易にそうとは言えないだろう。

これらの中国語訳を更に考察すると、以下のような二つの特徴が見られる。

- ①疑問詞のない場合にしか見られない
- ②「疑い」のニュアンスがなくなったが、翻訳作品全体の意味理解に差し支えない。

この二つの特徴から次のようなことが考えられる。中国語の「疑いの表現」は、疑問詞のない場合の方が疑問詞のある場合より表現されにくい。よって、中国語に翻訳される場合に全体の意味理解に差し支えないとすれば、前後文脈から反語や推測の語気を捉え、反語文と推測文に翻訳することは可能になる。それぞれ見ていこう。

2-2-1 推測文になる場合

例えば、今6時になったかについて聞き手も知らないと話し手が思って発問した場合、日本語では(08)のような「疑いの表現」になるだろう。

(08) 今、6時になったか（だろうか、かな、かしら）

一方で、同じ設定の下で中国語になると、(09)のような疑問表現で表された「疑いの表現」を発話してもよいし、(10)のように推測の文で表すこともできる。

(09) 现在是是不是六点了？

(10) 现在是六点了吧。

(09)は、疑問文で表す「疑いの表現」で日本語の(08)と対応できる。(10)の場合は推測の文であるので(08)に比べると意味のずれが起るが、中国語においては何も違和感をもたらさない。「六時になった」という肯定の意味を取り上げて推測の語気を加え、つまり推測の文で発話することができる。

2-2-2 反語文になる場合

本稿で反語文と判断される中国語訳は、すべて反語の語気を特徴的に表す表現を使用している。その表現とは、「不是…吗」のパターンや副詞の「难道」である。

まずは、「不是…吗」の反語文になる場合である。このパターンになる用例はそれほど多くない。以下の3例だけである。

(11) ①マッチの電話番号は、一三五一である。(アジサイ)がそれに当てはまらないか。アジサイ。

②この言葉が何かの数字にならないか。

—①火柴盒上的电话号码1351、其注解的日语字母、不是与八仙花的有些相似吗？

②照此说来、八仙花这个词、不也是代表一个号码吗？

(12) 「大佐」というと、もしかすると、西山旅館の経営者ではなからうか。終戦時の大佐だから、年齢もちょうどあの老主人と当てはまるではないか。

—“上校”不就是西山旅馆的老板吗？战争结束时是“上校”、年龄与老板正好相当。

(13) まあ、人間にはいろいろなタイプがある。この横尾という男は、自分の戦死が公表されて戸籍がなくなったことを、一つのチャンスに利用したのではなからうか？人間、戸籍がないと、どんなことでもできるという

気持ちになるんじゃないかな

一人啊、总是有各种各样的、横尾这个人、也许是利用了公报宣称他已战死而没有户籍的机会、没有户籍的人、不是干什么都很方便吗?!

この3例は「かな」、「か」で文末が違うが、各々否定形の「ない」が前接するというところで共通している。「ない」は中国語の「不是」に、「かな」と「か」は中国語の「吗」に普通に対応している。文自体が中国語で言うと、「不是」が文の前に、「吗」が後ろにくるという語順になるのである。まさに「不是」と「吗」が前後で呼応する反語文のパターンになる。つまり、日本語の原文は、「不是…吗」という中国語の反語文のパターンにぴったりと当てはまっている。「不是…吗」の反語文に翻訳されるのは、日本語の原文が形式上「不是…吗」に対応しているからと考えられる。この対応から中国語の訳は日本語の文形式に対応する形に影響される傾向が見られる。

次に、副詞の「难道」か「还」を使った反語文に対応した用例を見ておこう。

- (14) ジョニーはどこでビジネスマンホテルの存在を知ったのか？どこで偶然に知ったホテルの名前を護符のように捧げもって、初めて訪れた異国における心細さの中を脇目もふらず「ただ一つのホテル」へ向かって直行したと単純に考えてよいのだろうか？
 —乔尼从哪里得知有这么个东京商务饭店的呢？把在什么地方偶然听说的旅馆名字像护身符似的牢牢记在心中、在首次访问的异国他乡、尽管怀有种种不安、却毫不犹豫地径直住进“唯一的旅馆”、难道可以这么单纯的推测吗？
- (15) あれはやはり貞操観というものであろうか。それから人間を切り売りしようとしている男の考え方も、女の指を切り落とした残酷さも、張行徳の理解の外にあるものであった。
 —难道是为了贞操吗？还有那贩卖切割人肉的男人脑子里究竟想的是什么？那剝切女人指头的残酷、实在令人难以理解。
- (16) 何十本かの旗が固まって陽に輝いていることが、これまで行徳の見たいかなる部隊の行進とも違っていった。西夏の国王元昊に扈從する儀仗兵の一隊なのであろうか。
 —数十面旌旗聚集一起、在阳光下闪闪闪亮、这和行得从前所见的任何军队都完全不同。难道西夏王李元昊的仪仗兵队吗？
- (17) 梅田静子は、ただ、もの珍しさだけで買ったのであろうか。
 —难道静子仅仅因为稀奇才买这些的吗？
- (18) ほかに人影はなかった。泊った客はいち早く逃げ出したのか、声も聞こえぬ。誘導にくる宿の者もいなかった。
 —四周一个人影也看不到。奇怪！难道住宿的旅客都逃走了吗？怎么连声音都听不到？一个引路的人都没有。
- (19) あの真鶴から名古屋まで送ったのは、やはり断裁機だったのか。
 —难道从真鹤运往名古屋车站的货物、真的是切纸机？

この6例の中国語訳を、反語文と判断したのは、これらが「难道」と疑問助詞の「吗」（「吗」の省略は可）が対応した反語を表すパターンを使用しているからである。このパターンの反語文について、『現代中国語総覧』は、日本語の「…のはずがない」、「…であるべきではない」、「…とは限らない」などの意味を持つとしている。一方、他の形式の反語文については「肯定の意味を強め、明らかにこれが事実だということを表す」と述べている。この異なりから、「难道…吗」のパターンの反語文は、文そのものに反する意味を話し手が強調しているが、その真実に対してまだ疑いを持っているので結局根本的な断定を表していないという特徴を持っていると考えられる。そのため、日中対訳において「难道…吗」の反語文に翻訳されても日本語原文の意味理解に影響を与えないのであろう。

2-3. まとめ

「求めている情報を聞き手が持っていない」と話し手が判断して発話しているとの前提の下ではあるが、文中に疑問詞が含まれていない場合、中国語においては「疑いの表現」となることもあり、推測の文となることもある。

また日中両言語を対照すると、疑問詞のない日本語の「疑いの表現」は、中国語の「不是…吗」と「难道…吗」の反語文に対応することがある。その理由として、中国語の訳は文形式に影響される傾向と「难道…吗」の反語文の特徴がそれぞれ考えられる。

3. 日中両言語における「疑いの表現」の対応関係

本稿において明らかになったと思われる事柄をまとめておく。

- ①中国語においてこれまで指摘された文形式以外、諾否疑問文も「疑いの表現」になりうる。
- ②疑問詞を含む日本語の「疑いの表現」は、中国語の疑問詞疑問文に対応する
- ③日本語文が疑問詞を含まない場合、疑問表現の諾否疑問文、正反疑問文と選択疑問文に対応する他に、反語文と推測を表す文に対応することもある。
- ④日本語文が疑問詞を含まない場合、中国語は、「疑いの表現」だけではなく推測を表す表現と対応することがある。
- ⑤疑問詞のない日本語の「疑いの表現」は、中国語の「不是…吗」と「难道…吗」の反語文に対応することがある。

おわりに

本稿で日本語の文学作品とその中国語翻訳を用いて考察を行ったが、中国語の「疑いの表現」がどのように日本語に対応されるのかまで考察が至らなかった。これについて機会を改めて述べたい。

〈注1〉 本稿は、陳瑩の修士論文（2006年度三重大学教育研究科）をベースにしている。

〈注2〉 本文中に挙げなかった諾否疑問文による「疑いの表現」の例を以下に示す。

- そのねらわれた人物というのは、ああ、やっぱり明智探偵でした。探偵は、二十面相の予想にたがわず、まんまと計略にかかってしまったのでしょうか。
- 那枪口下的人物、果然是明智偵探。偵探果真丝毫不差地按照“二十張臉”的设想、中了盜賊的錦囊妙計嗎？
- だが、日本人は名刺を気軽にばら撒く。規格サイズの名刺の中の一枚を、はたしてだれにやったかおぼえているだろうか？
- 不过日本人递名片是很随便的。标准尺寸的任意一张名片到底是递给了谁、那个叫森户的人还能记得吗？
- そう不思議でもないことが島村はふと不思議であった。一心こめた愛の所行はいつかどこかで人を鞭打つものだろうか。
- 这本是不足为奇的事、但此刻的岛村却好奇起来。诚心诚意本乎爱的行为、也会在某时某地鞭挞人吗？
- だが、果たしてそうだろうか。
- 然而、果真如此吗？
- 熱海署の警部が云うように、あれは新婚夫婦の悲喜劇の一つだろうか。

—真的像热海署警方所说、这又是一幕新婚夫妇的悲喜剧吗？

- ①岩淵という名前を、新聞社に知られてはならないのだろうか。②それを知られると、捜査の障害になるというのだろうか。

—①不能被报社知道岩淵的名字吗？②如果被报社知道了、会妨碍调查吗？

- 女中たちが、この二人の素姓を知らないというのは本当であろうか。

—女招待们真的不知道他们的真实姓名吗？

- 私は六歳の健一に対して不必要なくらい神経過敏になっているのであろうか。

—我对六岁的健一、是不必要的神经过敏吗？

- あの西夏の若い女が板の上に身を横たえて考えていたことは何なのか。あの女は殺されるのが何でもないのであろうか。

—那个西夏年轻女子横卧在木板上时、不知有何想法。那个女人真不在乎被杀吗？

- はてな、と、若宮は思った。彼女は、だれか横浜から来る電車の客を待っているのだろうか。買ったのは切符ではなく、入場券だったのか

—若宮心想、真怪啊、她是不是来接从横滨来的车呢？她买的不是车票、是站台票吗？

- 名古屋といえば、蒼海ホテルの事務員春田がころされたところである。これは、偶然の暗合であろうか。

—民古屋の話、沧海旅馆管事春田就死在名古屋。这是偶然的巧合吗？

- 断裁機だけが送られたにしては、荷物の部分品が少ない。また、その品目は、それが断裁機になっているが、果たして、ほんとうに断裁機なのか。

—如果只送切纸机的话、货物的零部件就太少了。另外、发货单上显示的是切纸机、里面的东西就果真是切纸机吗？

- アベックが目撃したという女は、果たして事件に関係があるのか？

—那一对情侣看到的女人到底和这个案件有关系吗？

- おかしいな。誰も出て来ない。眠ってるのかな？

—奇怪呀、谁都没出来、是睡着了吗？

〈引用文献〉

仁田義雄（1991）『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房

日本語教育学会編（1982）『日本語教育事典』大修館書店

益岡隆志・田窪行則（1992）『基礎日本語文法』くろしお出版

古本裕子（1993）「疑問表現における問いかけの機能について」（『言葉の科学 第5号』名古屋大学『日本語学論説資料38-2（増刊）』所収）

相原茂 他（1996）『why？にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社

劉月華 他 片山博美訳（1996）『現代中国文法総覧』くろしお出版

〈参考文献〉

益岡隆志（1991）『モダリティの文法』くろしお出版

宮崎和人（1994）「『～ダロウ』をめぐって」（『広島修大論集 人文編』第35巻第2号（広島修道大学人文学会））

仁田義雄（1997）「意達さん、結婚するだろうか—〈問いかけ〉と〈疑いの表明〉」（『言語』Vol.26 大修館書店）

三宅知広（1993）「派生的意味について—日本語質問文の側面—」（『日本語教育79号』（日本語教育学会））

朱徳熙（1995）『文法講義—朱徳熙教授の中国語文法要説—』杉村博文・木村英樹 訳 白帝社

劉月華・潘文娒（1983）『实用現代漢語文法』外語教学与研究出版社

庵功雄（2001）『新しい日本語学入門』スリーエネットワーク

安達太郎（1999）『日本語疑問文における判断の諸相』くろしお出版

〈参考辞書〉

- 柴田武 他編 (2005) 『新明解国語辞典 第六版 (小型版)』三省堂
見坊豪紀 他 (2005) 『三省堂国語辞典 第五版』三省堂
北原保雄 他 (2003) 『明鏡国語辞典携帯版』大修館書店